

MORIMORI PRESS

モリモリプレス

県政
報告 埼玉県議会議員
森田としかずニュースレター

www.morita-toshikazu.com

森田としかず

検索

moritter 森田のつぶやき mori_morita

発行／埼玉県議会自民党議員団



tel.048-530-6001

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831熊谷市久保島1003-2
fax.048-530-6002
平日 9:00~17:00(土・日・祝日はお休み)

討論
資料

September

9

2010 秋号



さらなる植樹運動の展開を呼びかける!



温暖化に対応した作物の導入例のマンゴー



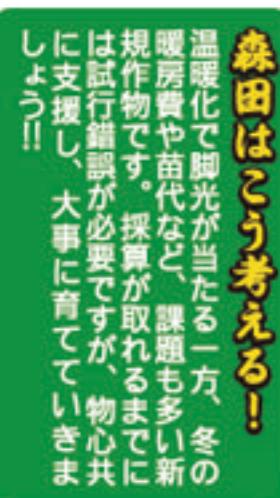
森田としかず
埼玉県議会6月定例会にて一般質問!!

個人を中心とした「植樹エンタリー制度」に加え、民間企業も対象にする制度に拡充を図っていきたい。また、「みどりづくり協力隊」による活動を民間のイベントにも拡大していきたい。「彩の国みどりのサポートーズクラブ」を近々に設立する。これらの取組を通じて植樹運動のムーブメントを加速させていく。

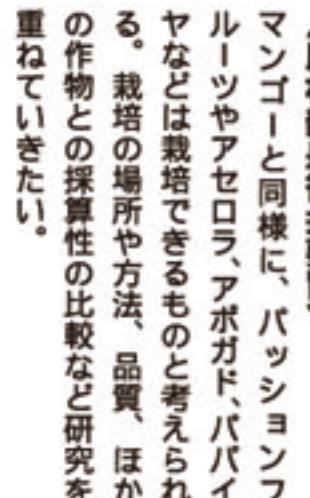
●一人一本植樹運動の2年目の展開、あるいはこれ以降の展開に対して、知事の具体的なお考えをお聞かせ願いたい。

（上田知事答弁要旨）

●一人一本植樹運動の更なる推進について



森田はこう考える!
温暖化で脚光が当たる一方、冬の暖房費や苗代など、課題も多い新規作物です。採算が取れるまでに試行錯誤が必要ですが、物心共の作物との採算性の比較など研究を重ねていきたい。



（農林部長答弁要旨）
マンゴーと同様に、バッショントルーツやアセロラ、アボガド、パパイヤなどは栽培できるものと考えられる。栽培の場所や方法、品質、ほかの作物との採算性の比較など研究を重ねていきたい。

●新規作物の導入について

4 気候温暖化に対応したて

●熱帯原産の作物・品種でどのようなものが現実的に生産できそうか。

●気候温暖化対応農業プロジェクト報告書にまとめた内容のその後の状況と併せてお聞かせ願う。

森田としかず
登壇!!!



（森田としかず）
「1人1本植樹」推進を

（森田和也）
（農林省農業局）

（「上田知事」）
（「森田としかず」）

（「上田知事」）<br